

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス大分教室		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2024年 10月 4日		～ 2024年 10月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童と職員が同じ目線で過ごすことで、細かな支援へと繋げることができている	<ul style="list-style-type: none"> 自由時間には職員が自然と遊びに参加し、共に過ごす時間を作っている。 遊びの中での会話から、色々な気持ちを聞き出している。 	関わりの少ない児童同士の遊びを仲介し、様々な人との関りの場を提供する
2	利用児童の興味・関心を広げられるよう、多様なスキル習得に向けたトレーニング内容を設定している	<ul style="list-style-type: none"> トレーニングを担当する職員の得意分野を活かし、スケジュールを決めている。 その日に配置している全職員で、トレーニング内容の詳細や進行における留意点を共有する時間を設けている。 	インターネットや情報誌等を活用し、新たな支援トレーニング内容の開拓を行う
3	関係機関との情報共有を定期的に行うことができている	利用児童が施設で過ごす中、気になる点等がある場合は、関係機関との相談や情報の共有を行っている	現在は、電話連絡による相談や情報共有がメインになるので、対面で話ができるよう時間を増やしていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場が提供できていない	トレーニングの参観や、保護者参加型のイベント企画について議論はあるが、日程調整まで踏み込めず、うやむやになってしまっている	議論があるタイミングで迅速に日程調整を行い、開催できるようにする
2	助言・指導が必要な場面において、職員の行動に偏りがある	職員の役割が明確になり過ぎており、指導に踏み込めない場面が多い	研修や勉強会を活用して、全職員が臨機応変に対応できる柔軟な力を身に付けられるようにする
3	地域交流の機会が少ない	利用児童の特性や性格、日程調整等の負担を考慮し、交流開催の相談ができていない	まずは、地域交流のための第一歩として、挨拶等で関わりの機会を増やし、地域交流の土台作りを行っていく